

## 令和元年度第1回印旛地区地域審議会 会議録

- 1 開催日時 令和元年7月25日(木)・午前10時～11時40分
- 2 開催場所 ふれあいセンターいんば 3階 会議室1, 2
- 3 出席者 櫻井健一 委員、櫻井由紀子 委員、竹内仁 委員、吉岡昌瑞 委員、  
中村恵利子 委員、大野忠行委員、須藤賢一 委員、横山三夫 委員、  
片倉恵美子委員
- 4 欠席者 関野庄悦委員
- 5 事務局 企画政策課：小林課長、富澤課長補佐、櫻井係長、鈴木主査
- 6 傍聴者 なし
- 7 議事 (1) 平成30年度分行政評価結果について  
(2) 印旛地区・本埜地区意識調査について
- 8 議事録 要点筆記

議長： 議事(1)平成30年度分行政評価結果について、事務局より説明願います。

事務局： (資料に基づき説明)

議長： 事務局の説明が終わりました。ご質問等を伺います。

須藤委員： 評価結果としてこの資料を公表することだが、何故このような評価になったのか非常にわかりにくい事業がいくつかあると感じた。表現や評価をもう少し工夫してはどうか。

事務局： 評価票の表現については、できるだけわかりやすく記載するよう努めていきたい。また事業によっては成果目標を設定しづらい事業もあり、例えば40子ども医療費助成事業では受給券を適切に発行すること自体が成果であって、必ずしも助成件数の増を目標しているものではなく、また、道路整備でいえば供用開始されるまでその成果が測れないという面もある等の理由により、成果目標設定がない事業も一部生じているものです。

中村委員： 40子ども医療費助成事業では子育て家庭の経済的負担軽減を目的に実施しているものであり、成果はどの程度軽減が図れたかという事ではないか。目標数値の設定が難しいのであれば、助成額などについて保護者等がどう感じているかをもって評価すべきではないか。

竹内委員： 昨年度も同様の指摘をした。同じ指摘をされないよう、出された意見をでき

るだけ尊重し反映させるよう努めていただきたい。確かに目標を数値化しづらい事業もあるというのは理解するが、例えばその様な場合は充足度や満足度などを評価の基準に取り入れるなど、わかりやすく納得できる評価手法に工夫していただければと思う。

事務局： 現在、次期総合計画の策定に着手しており、その中で行政評価制度の見直しについても検討している。今後、頂いた意見等を参考に、市民が見てより分かりやすく適正な評価ができるよう、手法については研究していく。

吉岡委員： 今は昔と違い、市（私）道や農免道路など生活用道路の草刈り等をあまり地域で行わなくなり、車の交通に支障をきたしており将来的にも危惧している。そういった道路の草刈り等についてはどの事業となるのか。

事務局： 153 道路維持管理事業となる。道路の維持管理についてはこれまでも度々ご意見や要望を頂いていることもあり、市としても今年度主要事業に掲げ予算額も例年より増額して対応することとしている。

櫻井委員： 85 新規就農促進事業について、高額の補助等を受けても相応の経営等に活かされていないケースが見受けられるため、事業の効果等をよく注視し進めていただきたい。

事務局： 頂いたご意見について担当課に伝える。

議長： 他に質疑等ありませんか。

無いようでしたら、議事（1）平成30年度分行政評価結果については以上とします。

次に、議事（2）印旛地区・本埜地区意識調査について、事務局より説明願います。

事務局： （資料に基づき説明）

片倉委員： 調査票について、選択肢以外の感じ方をする人もいるので、できるだけ自由記述できるようにした方が良いと思う。

事務局： 調査票のレイアウトについてはこれからの調整となるので、意見を参考にさせていただきます。

中村委員： 設問 15 について、良かったか悪かったかの何れかしかないため、可能であればもう少し選択肢を増やしてほしい。

事務局： 検討させていただきます。

須藤委員： 交通の設問について、印旛、本埜地区の住民にまずふれあいバスを知っているのかの設問から入ってはどうか。両地区住民の利用は少ないと思うし、その

理由は自分の都合に合わないからではないかと考えている。そういう所から今後のふれあいバスの運行について検討頂きたいと思う。

事務局： 検討させていただく。

横山委員： アンケート結果を何に使うのか、活用方法を念頭に入れて設問を検討された方が良いと思う。

事務局： アンケートの目的としては、合併して10年経過し、どうであったかということ、今後はまちづくりに活かすためにこの審議会からの答申や新市基本計画の総括の資料として活用していきたいと考えている。

なお、アンケートの実施目的、活用方法については調査票表紙に記載する。

竹内委員： 調査目的について、新市基本計画の成果等の検証ということもわかるが、次期総合計画の策定も始まったということで、将来に向けた真に住みやすいまちづくりに活かすための、これまでというよりこれからに目を向けたアンケートとして、対象者に目的をわかりやすく説明し実施いただければと思う。

事務局： アンケートについては、今後のまちづくりに軸足を置くようにし、また、より多くの方に回答を頂けるよう、本日頂いた意見等を参考にして実施させていただく。

議長： 設問9についてはどの様に回答をさせるのか。

事務局： 良くなったと思う施策、悪くなったと思う施策それぞれ回答欄を設け、選択肢の番号を記入していただく形を考えている。

吉岡委員： 対象者2,000人ということだが、どう選定するのか。

事務局： 印旛地区、本埜地区に在住の18歳以上の方を対象として、住民基本台帳から無作為で抽出する。

議長： 他に質疑等ありませんか。

無いようでしたら、議事（2）印旛地区・本埜地区意識調査については以上とします。

本日の議事はこれで終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。

事務局： その他、委員の皆様から何かございますか。

各委員： なし。

事務局： 他になければ、以上をもちまして令和元年度第1回印旛地区地域審議会を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

会議資料

会議次第

- |          |                         |
|----------|-------------------------|
| 資料 1 - 1 | 平成 3 0 年度分行政評価の結果概要について |
| 資料 1 - 2 | 平成 3 0 年度分行政評価結果報告書     |
| 資料 1 - 3 | 平成 3 0 年度分実施計画事業評価票     |
| 資料 2 - 1 | 印旛地区・本埜地区市民意識調査設問（案）    |
| 参考資料     | イノシシ捕獲数・電気柵設置状況         |

令和元年度第 1 回印旛地区地域審議会の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和元年 8 月 2 3 日

委員 横山 三夫

委員 片倉 恵美子